

会議の名称	令和2年度第3回八雲町介護保険事業運営委員会 書面会議
発 文	令和2年12月28日(月)
委 員	委員総数 20名、回答書提出者 11名
会議の処理、てん末	
○令和元年度 第2回介護保険事業運営委員会 書面会議	
議題	
(1) 協議事項	
①八雲町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画素案について	
○賛成：20人	
○反対：0人	
○意見：	
●P17-5-介護予防・日常生活支援総合事業の状況	
(2) 一般介護予防事業	
<p>各事業の実施回数が減少しておりますが、これからの時代、地域でのソーシャルキャピタルの醸成は必要と思われますので、参考までに減少した主な理由としてどのようなことが考えられるのか教えていただけないでしょうか。</p> <p>→一般介護予防事業につきましては、介護保険法の改正に伴い平成29年度から制度化された介護予防・日常生活支援事業実施に伴い、事業の大幅な見直し及び再編を行い平成30年度より順次実施してまいりました。</p> <p>基本的な方向性としましては、これまでの町が主体的に実施する介護予防ではなく、住民がより参加しやすいよう住民主体の通いの場を創出し、身近な通いの場に通っていただくこと、またより介護予防の効果を高めるために、参加者一人あたりの実施回数を増やすことを基本として事業の見直しを行いました。</p> <p>具体的には、重点事業として素案15ページの地域介護予防活動支援事業として、通いの場の創出に取り組み、実施地区は計画を大幅に上回っており、延べ参加人数も令和2年度においては、新型コロナウイルスの影響があったにも関わらず、1,000人を超える見込みとなっており、現存の事業の参加者の多くはこちらへ参加していただいております。</p> <p>また素案15ページの介護予防普及啓発事業として、より予防効果が認められる週1回の運動教室を3地区で開催しております。</p> <p>なお各事業の実施回数の減少につきましては、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止したことによるものも大きな要因であります。</p> <p>地域のソーシャルキャピタルの醸成につきましては、計画書54ページに記載しておりますが、老人クラブや町内会など各種団体などで実施する出前説明会等の開催によって行っております。</p>	